



10月の園だより

平成30年10月1日

食欲の秋・読書の秋・スポーツの秋・実りの秋・・・楽しみの多い季節がやってきました。

先日の体育まつりは、たくさんの方々の声援・ご協力を頂きありがとうございました。子どもたちは最後まで一生懸命頑張り、心も体もまた一回り大きくなったように感じます。

季節の変わり目は体調を崩しやすくなります、「早寝・早起き・十分な栄養」をとり、ご家庭と連絡をとりながら、体調管理に気を付けていきたいと思ひます。

◇秋の遠足について◇

日時：10月25日(木)
 参加：雪・星園児のみ
 場所：中央消防署・森きらら
 詳しくは後日お手紙にてお知らせしたいと思います。

◇検尿を行います◇

日時：11月6日(火)
 対象：3・4・5歳児

◇園児健康診断◇

日時：11月16日(金)
 対象：全園児
 詳しくは後日お手紙にてお知らせしたいと思います。

◇親子であそぼ!◇

日時：11月11日(日)
 場所：佐世保中央公民館
 詳細は後日お知らせします。

◇避難訓練◇

9月25日(火) 火災訓練をしました。

SAKURA COLUMN

♪同じ方向を向いて♪

子どもと向き合うことは大切ですが、親子であるからこそ難しい時があります。先日亡くなった樹木希林さんが生前おっしゃっていました。「夫婦は向き合わない方がいい。それぞれ程よい距離感を保つことが長続きの秘訣」と。親子関係も時として同様だと思います。お休みの日に子どもを喜ばせようとイベントや遊園地に連れ出すのもいいですが、たまには、子どものやっていることを、一緒にやってみるとか、子どもの好きなテレビを一緒に観るとか、子どもは親が傍にいて、子どもの目線に合わせて同じ方向を向くだけで、子どもは安心します。力を抜いておうちでポーっと親子で過ごすのもいいものですよ。

《ご意見・ご要望》

ある職員の園児に対する接し方が配慮に欠け、不適切ではとのご指摘をいただきました。園長から職員に対してその旨を伝え、今後の接し方改め子どもの気持ちに十分配慮するように指導を行いました。これを機に全職員が自身の保育を振り返り、今後このようなことのないように努めます。ご意見ありがとうございました。

【10月の行事予定】

月	火	水	木	金	土
1	2	3	4 絵画教室(月)	5	6
8	9 英会話	10	11 体育教室 (月・雪)	12	13
15 絵画教室 (すみれ)	16	17 誕生会	18	19 交通安全指導	20
22	23 英会話	24	25 秋の遠足 (雪・星)	26	27
29	30 絵画教室(月)	31			



自己主張



自己主張とは、人間が社会において、自己の意見・考え・欲求等を他人に伝えることを言います。小さな子どもたちにおいても、泣いたり怒ったり時には大きな声を出したりしながら自己主張をして気持ちを伝えようとします。今回は、みなとこども園における年齢別の自己主張の現れ方とその対応・アドバイスについての事例をお伝えしたいと思います。

たんぽぽ組 着脱にこだわる、靴をはきたがるなど、あらゆる場面で「イヤ」「ジブンデ」等のこだわりが出てきて自己主張をすることが見られるようになります。また、言葉でうまく伝えられず、叩いたり噛みついたりすることで自分の気持ちを表すこともあります。

アドバイス 時間のある時はじっくり子どもと向き合っ、子どもが納得できるまでつきあってあげます。しかし、時と場合を見て大人が手伝うことも必要になってきます。大人の都合で子どもの自己主張の芽をつまないようにしましょう。また、噛みつき等が見られた時は、短い言葉で叱り、してはいけないことを伝えます。子どもは行為により何かを伝えようとしています。大人は子どもの行為の理由を汲み取り子どもの思いを受け止め代弁してあげましょう。

すみれ組 この時期になると、色々な場面で言葉かけをしても「イヤイヤ」と頑なに拒否をします。大人からすると、自己主張が強く、聞き分けがないので対応に悩むことが増える時期でもあります。

アドバイス 自己主張の仕方は言葉だけでなく、行為や態度で示すこともあります。大人にとって子どものイヤイヤ期はとても扱いにくい時期ですが、この時期は子どもの成長発達には欠かせない大切な時期です。子どもの主張に対し一方的に言い聞かせてしまうと、せつかくの自己主張の芽を摘んでしまうことになります。子どもなりの意思表示だということを理解し、会話をしたり傍で見守ったりしながら子どもの主張に耳を傾けましょう。そのためには、大人側の心のゆとりも大切です。

星組 イヤイヤ期の2歳児の子どもと比べると3歳では言葉が発達するため、強い表現の仕方は徐々に少なくなってきます。自分とは異なる他者の思いを理解する力が少しずつつき、友だちや大人との関わりによって学んでいきます。

アドバイス 自己主張が強い子もいれば弱い子もいます。その気質を尊重しながら自己主張をする力と抑制する力をバランスよく育てていくことが必要です。友だちと沢山関わり、友だちとぶつかった時、意見が違った時には交渉し折り合いをつける経験を沢山しましょう。

雪組 この年齢になってくると、自分の気持ちだけでなく、相手の気持ちを考えて行動したり話をすることができます。また、うまく答えられないとふざけてその場を壊そうとするなど、その時々感情の起伏が激しくなることもあります。

アドバイス 子どもたちの考え、思いをしっかり聞き受け止めましょう。攻撃的な行動で意思を伝えようとした時は、一旦、気持ちを落ち着かせてから、本人の気持ちを聞き、相手の気持ちを一緒に想像してみましょう。また、手伝いをする機会を作ったり、努力することを生活の中に取り入れ、認められる喜びや達成感などを味わう経験ができる環境を作りましょう。

月組 園では一番年上の子どもたち。家庭で、「お兄ちゃん、お姉ちゃんだからしっかりしなさい。」と言われ、話を聞いてほしいのにあまり話を聞いてもらえず、かまってほしかったり、見てほしくてアピールする子もいます。

アドバイス 話をしっかり聞いて少しでも一緒に過ごす時間をとりましょう。また、自己主張を尊重しつつも、どういう要求が通りどういう要求が拒まれるのか、受け入れられるものと拒否されるものを様々な体験を通して子どもがかぎ分けの力を身に付けさせていくことが大切です。その際、大人の対応によって子どもが混乱しないように大人の一貫した対応が求められます。

自己主張することで、相手の意図や思いに気づき何事も思い通りにいかないことを学んでいきます。わがままは他人の迷惑を考慮せずに自分の思いを押し通すことです。自分の思いを表出することは、とても大切なことです。言葉を発しない赤ちゃんでも、様々な表現方法で意思を伝えています。子どもの「自己主張=わがまま」と捉えるのではなく、子どもの自己主張に対し、共感したり一緒に考えたりして、子どもの自己主張の芽を育てましょう。



ほけんだより 10月号



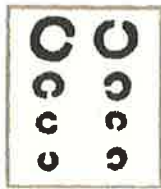
平成30年10月1日
みなとこども園

昼間は汗ばむ日もありますが、朝夕はグッと冷え込むようになりました。お布団も洋服も衣替えの季節です。この時期はかぜを引きやすいので、体が冷えてしまわないようにきちんと下着を着て、上着などで体温調節をしましょう。

10月10日は 目の愛護デー



子どもの目は毎日発達していて、両目の視力機能は6歳頃にほぼ完成と言われています。その後に視力が低下するのは、幼い頃の姿勢や体の動かし方が関係しているそうです。自然の中で十分に遊ばせ、外の景色をたくさん見せることでお子さまの視力を育てていきましょう。



こんな見方は危険信号！

- ・テレビや絵本に近付いて見る
- ・明るい戸外でまぶしがる
- ・目を細めて見る
- ・上目遣いに物を見る
- ・目つきが悪い、目が寄っている
- ・見る時に首を曲げたり、頭を傾けたりする

このような症状が見られると斜視や弱視の可能性が考えられます。子どもは視力が悪いことを自覚できないため、上記のような症状がないか普段から気にかけて見るようにしてください。

薄着の習慣は秋から

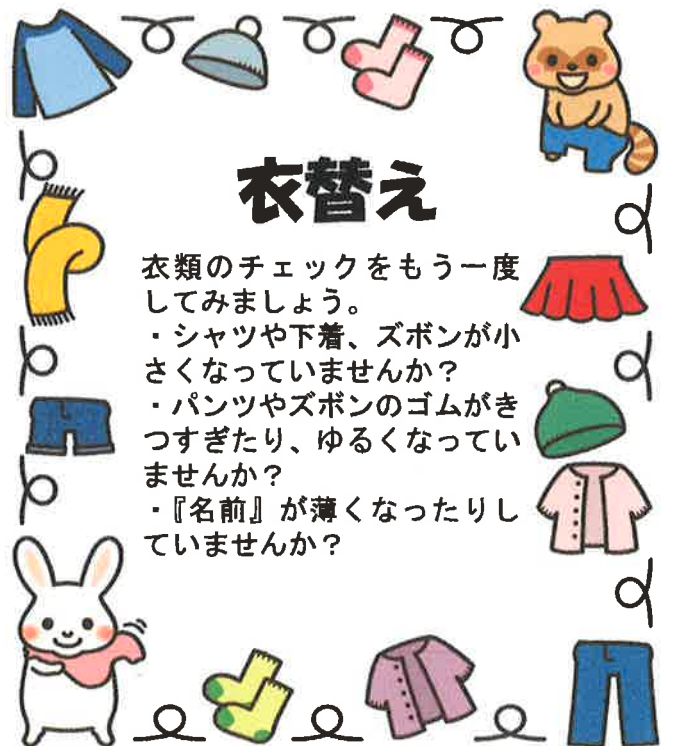
肌寒くなるとつい厚着をさせたくなりますが、子どもは意外と寒さに強いもの。冬に向けて抵抗力を着け丈夫な体を作っていく為にも、今から薄着を心がけましょう。

薄着で過ごすコツ

- ・寒い時は薄手の上着で調節
- ・肌着を着て保温する
- ・お腹と背中が出ないようにする

暑かったら脱ぎ、寒かったら着たりと、自分で衣服の調整が出来るように声をかけていきましょう

着脱しやすい衣類を
選びましょう



衣替え

衣類のチェックをもう一度してみましょう。

- ・シャツや下着、ズボンが小さくなっていませんか？
- ・パンツやズボンのゴムがきつすぎたり、ゆるくなっていますか？
- ・『名前』が薄くなったりしていませんか？